# 陸前高田市の子どもたちの様子について

予測困難な社会を生き抜くために 本市の子どもたちに付けたい力



### 令和 4 年度学校教育施策 ◆令和4年度の重点◆

「主体的な学びの力、人とつながる(関わる)力を育むために

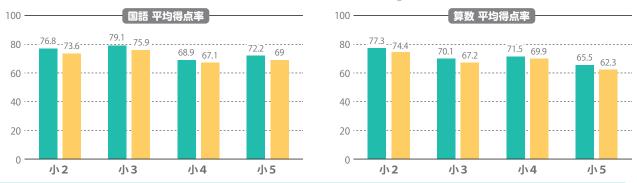
- ◎確かな学力を育む教育の推進
- ○社会の変化に対応する教育の推進
- ○学校・家庭・地域との連携・協働による教育の推進
- ○学校不適応の早期対応・早期解決に向けた支援

### 【確かな学力を育む教育の推進】について

### ◆各種調査の実施

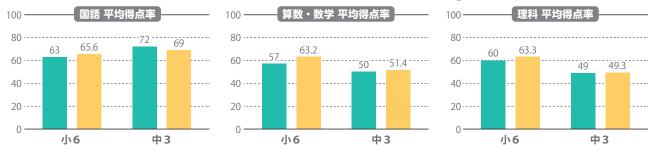
令和4年度より本市では、小学校4年生以上を対象に、年に2度の学力検査を実施し、学習の 定着状況の把握と授業改善を通した学力向上に取り組んでいます。年度後半に実施する調査では、 学力の実態を把握・分析し、次年度の進級・進学に向けて当該学年の学習内容を定着させるため に活用しています。

### 【令和4年度標準学力調査CRTの結果(令和4年4月実施)】



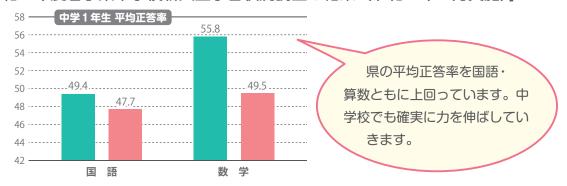
各学年、国語・算数ともに全国値を上回り、基礎基本の定着が見られます。

### 【令和4年度全国学力・学習状況調査の結果(令和4年4月実施)】

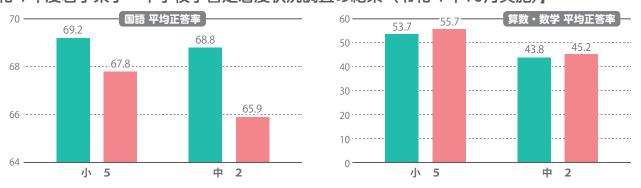


中3国語は全国平均を上回ったものの、その他は全国平均を下回り、特に小6算数は約6ポイント下回っています。説明や活用する問題に課題が見られます。

### 【令和4年度岩手県中学校新入生学習状況調査の結果(令和4年4月実施)】



### 【令和4年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査の結果(令和4年10月実施)】



国語については、県の平均正答率をほぼ上回っています。算数·数学については、つまづきを分析し、 授業改善と定着を図るための反復学習を図りながら力を伸ばしていきます。 これらの調査に加え、「標準学力検査(対象:小4、中1、中2)」、「岩手県中学1年生英語確認調査(対象:中1)」、「岩手県中学2年生英検IBA(対象:中2)」も実施しています。市や各校での分析を行いながら、授業や学習のあり方を見直し、児童生徒の学力向上に取り組んでいます。

### 調査分析から

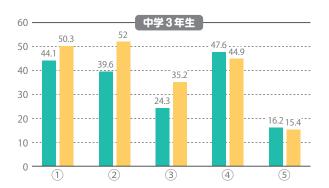
- ・「文章を読み取る問題」や「自分の考えを文章で表現する問題」に課題が見られます。
- →本や新聞など文字に触れる機会を多くしましょう。また、考えを最後まではっきり伝える など、家庭でのコミュニケーションも大切にしましょう。
- ・小学校5年生から算数において県や全国との差が開き始めています。計算力とともに、答えにたどり着くまでの道筋や理由を説明することに課題が見られます。
- →計算力の土台は小学校3、4年生の頃から育まれます。家庭での学習では、毎日コツコツと取り組むことで計算・ことば、語い等の力を身につけましょう。学校から出された宿題では、自分の答えを導き出すまでの考えや理由を言葉で表現することも意識してみましょう。
- →国語や英語の音読練習は、言語能力を高めます。特に英語の音読練習はデジタル教科書を 活用して、リズムやイントネーションを意識するとより効果的です。

### ◆子どもたちの学習習慣に関わって

確かな学力は、「学校」と「家庭・地域」の両輪で育成されます。学校での学習以外に、自分で計画を立てて学習や生活に励むことで、将来に向けての足場をしっかりと固めることにもつながります。一方で次のような場合は、学力をうまく伸ばせていないようです。

- ★1日当たりのゲーム時間が長い
- ★1日当たりのSNSや動画視聴を行う時間が長い
- ★スマートフォンの利用やゲーム・メディア等の利用に対しての家庭でのルールが守られて いない
- (令和4年度全国学力・学習状況調査における質問紙調査結果より)
- ①平日に、2時間以上テレビゲーム等をしている。
- ②平日に、2時間以上スマートフォン等でSNSや動画視聴している。
- ③平日に、学校の授業以外で2時間以上勉強している。
- ④休日に、2時間以上勉強している。
- ⑤自分でしっかりと計画を立てて勉強している。





■は市、■は全国の割合(%)を表しています。

- ○本市の児童・生徒は平日の家庭での学習時間が不足
- ○ゲームや動画視聴等の上手な利用(時間・決まりなど)が大切

### 次のような働きかけを家庭でもおねがいします

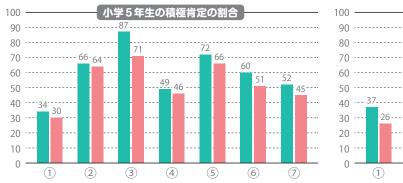
- ◎朝食を毎朝しっかり食べる
- ◎自分で計画を立てて、生活や学習を行う(起床時間、就寝時間、 スマートフォンやゲームのルール等)
- ◎新聞や本を読む
- ○地域の方々と積極的に関わる(活動に参加)
- ◎地域や社会に貢献するなど人の役に立つ人になることを重視
- ◎自分の考えを言葉でしっかり伝えさせる

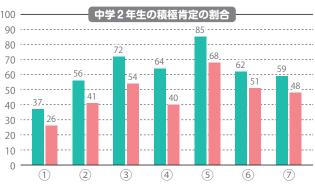


## 児童・生徒への質問紙調査から見える 本市の子どもたちの強み

(令和4年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査における質問紙調査結果より)

- ①自分にはよいところがあると思いますか?
- ②あなたは、将来の夢や目標をもっていますか?
- ③自分の住む地域には、良いところがあると思いますか?
- ④学校や地域が行う体験活動に、今後も参加したいと思いますか?
- ⑤人が困っているときは、進んで助けようと思いますか?
- ⑥学級は、お互いを助け合ったり、お互いのよさを認め合ったりできる学級だと思いますか?
- ⑦学級には、授業中の先生からの質問や、教科書の問題の答えなどについて間違っても認め合える雰囲気がありますか?
  ■は市、■は県の割合(%)を表しています。





- ・7項目すべてにおいて、県の積極肯定の割合を上回っています。
- ・地域の良さを感じたり、地域の活動に参加したり、人が困っている時に進んで助けたりしようとする思いが強く、豊かな心が育まれています。

家庭・地域と児童生徒の効果的なつながり=豊かな心の育成へ

### 【社会の変化に対応する教育の推進】について

### ◆ICTの効果的な活用

一人一台タブレット端末を導入して、2年目。授業での効果的な活用が始まっています。 また、コロナ禍において、休校の際や密をさけるためにオンラインによるリモート学習も行われています。



### PTAと連携したオンライン防災学習

密をさけるため、体育館と教室をオ ンラインでつないだ防災学習。それぞ れの場所で同時に活動に励みました。

### 長期休業中のオンライン・ホームルーム

担任と児童のつながりを大事にすることを 目的に休業中も健康観察や課題の進み具合を 確認!休み中も顔が見られて一安心!







タブレット端末を 活用した生徒総会





授業での活用も進 んでいます!

### 【学校・家庭・地域との連携・協働による教育の推進】について

### ◆陸前高田市コミュニティ・スクール (学校運営協議会制度)

多様な経験をもつ地域住民の方々が学校の活動に関わることで、教育の質を高めることをねらいとしています。令和2年度より市内全小・中学校で実施され、今年度で3年目を迎えています。 各校で年2回~4回会議が行われ、地域学校協働活動との一体的な取り組みも行われています。



【感謝の会】 日頃の登下校の 見守りありがと



【サツマイモ販売】 地域の方々がたく さん来てくれまし た



【授業参観】 学校と子どもた ちの様子を参観



【会議の様子】 地域の子どもたち のために活動を考 えます

### 【学校不適応の早期対応・早期解決に向けた支援】について

児童生徒の居場所づくり、学校不適応の早期対応および解消に向けた支援と迅速かつ組織的な対応の強化のために以下のことに取り組んでいます。

· 教育相談支援事業

(教育相談員、巡回支援相談員、スクールカウンセラーの配置、適応支援教室の機能の充実)

- ・保健室登校への対応
- ・アンケートを活用した研修会の開催
- ・ケース会議等の実施

【令和3年度 30日以上の長期欠席児童生徒(病気・経済的理由をのぞく)】

### ◆100人あたりの出現率◆

	小 学 校	中 学 校
陸前高田市	0.32人	2.16人
岩手県	0.84人	3.96人
全 国	1.3人	5.0人



岩手県や全国と比較し、本市の長期欠席児童生徒の割合は低くなっています。全国的にも言えることですが、小学校に比べ、中学校での割合が増えています。思春期でもあり、学習や友人関係等悩みが多くなることが要因の一つと考えられます。家庭でもコミュニケーションを大切にしていきましょう。

教育委員会では今後も一人ひとりの心に寄り添い、学校、保護者や各機関と連携を図りながら、学校不適応の早期対応及び早期解決の支援を継続していきます。

陸前高田市教育委員会では、子どもの「学力」「心」「健康・体力」を支えます。 教育相談もどうぞご利用ください。

### 陸前高田市教育委員会

〒 029-2292 岩手県陸前高田市高田町字下和野100番地 tel 0192-54-2111 (代) 各種相談は、学校教育課(内線 523・524)まで。